

一般社団法人関西経済同友会
公益社団法人関西経済連合会

「関西財界セミナー賞2019」の公募について

関西経済同友会と関西経済連合会は、「関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人など」を表彰する「関西財界セミナー賞2019」の公募を本日から開始いたします。

本賞は2005年に創設され、今回で15回目となります*。10月19日の公募期間終了後、選考を行い、2019年2月に京都で開催予定の第57回関西財界セミナーの中で受賞者の発表と表彰を行う予定です。 *輝く女性賞は2009年の創設、今回で11回目の表彰

<関西財界セミナー賞2019公募概要>

1. 表彰対象と要件

(1) 表彰対象

- ・ 関西2府8県（※）で事業活動を行う企業・団体・個人等。
※福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島
- ・ 本社の所在地、企業・団体規模の大小、自薦・他薦 は問いません。

(2) 表彰要件

- ①独自の経営や技術、ビジネスモデルなどによって業績をあげていること。
※直近3年の業績(経常利益)も参考にする。
- ②新規事業等により関西経済の発展、関西のイメージアップに貢献していること。
または、社会的活動を通じ、地域社会に貢献していることなど。

2. 表彰内容

- ・ 大賞・・・表彰要件①に該当する、最も優れた企業、1件
- ・ 特別賞・・・表彰要件①または②に該当する優れた企業・団体・個人、2件以内
- ・ 輝く女性賞・・・表彰要件①または②に該当する活躍が著しい女性、または、女性の活躍を支援する企業・団体・個人、3件以内

3. 応募方法

別紙の応募用紙・推薦用紙に必要事項をご記入のうえ、10月19日(金)までに、下記宛先までメール、FAX、または郵送にてご応募ください。

※応募用紙・推薦用紙は、以下のホームページからダウンロードできます。
(<http://www.kankeiren.or.jp/project/cat62/>)

○応募先 メール：zaisemishou2019@kankeiren.or.jp

FAX：06-6443-5347

郵送：〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階
(公社)関西経済連合会 総務部 関西財界セミナー賞2019担当 宛て

以上

【添付資料】①「関西財界セミナー賞2019」募集のご案内、②応募用紙、③推薦用紙、
④「関西財界セミナー賞」受賞実績

関西経済同友会・関西経済連合会共催

関西財界セミナー賞2019 募集のご案内



大賞贈呈の様子

特別賞受賞者

輝く女性賞受賞者

※前回の贈呈式の様子

関西財界セミナー賞は、関西全体の競争力強化や地域の活性化に寄与することを目的として2005年に創設され、今回で15回目となります*。

同賞は、「関西において、優れた技術やビジネスモデルを持ち、独自性を生かして関西の活性化に貢献している企業・団体・個人など」を表彰しています。

賞の贈呈式は、2019年2月開催予定の第57回関西財界セミナーの中で行います。

“われわれの取り組みにぜひ注目してほしい！”といった自薦や、“あの企業・団体・個人の取り組みはすばらしい！”といった他薦、どちらでも結構です。多くの皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

※輝く女性賞は2009年の創設、今回で11回目の表彰

前回の受賞者

＜大賞＞ 吉本興業(株)

＜特別賞＞ 認定NPO法人 フードバンク関西
(株)ミライロ

＜輝く女性賞＞ (株)グランディーユ 代表取締役 小笠原 恭子氏
大塚製薬(株)
(株)天彦産業
(株)はたけのみかた

＜関西財界セミナーとは＞

1963年以来、毎年2月に関西の企業経営者が一堂に会し、国、地域、企業経営のあり方を議論するセミナー。企業経営者のみならず、外資系企業、在日公館、大学、自治体など幅広い分野の方々が参加している。

— 募集要項 —

1. 表彰対象と要件

(1) 表彰対象

- ・ 関西2府8県（※）で事業活動を行う企業・団体・個人等。
※福井、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、徳島
- ・ 本社の所在地、企業・団体規模の大小、自薦・他薦は問いません。

(2) 表彰要件

- ①独自の経営や技術、ビジネスモデルなどによって業績をあげていること。
※直近3年の業績(経常利益)も参考にします。
- ②新規事業などにより関西経済の発展、関西のイメージアップに貢献していること。
または社会的活動を通じ、地域社会に貢献していることなど。

2. 表彰内容

- ・ 大賞・・・表彰要件①に該当する、最も優れた企業、1件
- ・ 特別賞・・・表彰要件①または②に該当する優れた企業・団体・個人、2件以内
- ・ 輝く女性賞・・・表彰要件①または②に該当する活躍が著しい女性、または、女性の活躍を支援する企業・団体・個人、3件以内

3. 募集期間

2018年9月3日（月）～10月19日（金）

4. 応募方法

別紙の応募用紙・推薦用紙に必要事項をご記入のうえ、10月19日(金)までに、下記宛先までメール、FAX、または郵送にてご応募ください。

※応募用紙・推薦用紙は、以下のホームページからダウンロードできます。
(<http://www.kankeiren.or.jp/project/cat62/>)

○応募先 メール：zaisemishou2019@kankeiren.or.jp

FAX：06-6443-5347

郵送：〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階
(公社)関西経済連合会 総務部 関西財界セミナー賞2019 担当宛て

5. 受賞者の発表・贈呈式

厳正なる選考の上、受賞者には事務局よりご連絡いたします。

贈呈式は、2019年2月開催予定の第57回関西財界セミナーの中で行います。

お問い合わせ先：

(一社)関西経済同友会 企画調査部 與口・木津 TEL：06-6441-1031

(公社)関西経済連合会 総務部 田邊 TEL：06-6441-0101

以上

2018年 月 日

「関西財界セミナー賞2019」 応募用紙

募集期間 2018年9月3日(月)～10月19日(金)

企業・団体・個人名	
事業・活動名	
<p>◆アピールポイント ※可能な範囲でご記入ください。</p> <p><独自性・革新性>※箇条書き（100文字以内） (例:日本・世界初の取り組み・ビジネスモデル、従来と異なる手法に挑戦、本業を生かし新たに〇〇の分野に進出、 〇〇(技術・商品)は日本唯一 など)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div> <p><活動成果・影響>※箇条書き（100文字以内） (例:〇年連続で収益増、約〇%(国内〇位)のシェア、〇億円の経済効果があった、施設において〇人を集客 など) ※概ね直近3年間でのご活躍内容をご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div> <p><関西への貢献>※箇条書き（100文字以内） (例:地域の課題解決への取り組み、地域の雇用創出に貢献、住民交流の場の提供、地域振興活動の実施 など)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div> <p><女性の活躍>※箇条書き（100文字以内） (例:〇〇年経営者として活躍、女性初となる〇〇、女性ならではの視点を生かした事業の実施および商品の開発、 働く女性を支援する〇〇制度を整備し、育児休業取得率、復職率〇%を達成 など)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>	
<p>◆応募への意気込み (直近1年での特別なトピックス等、自由にご記入ください。)</p> <div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>	

ご連絡先

部署名 (役職名)			
お名前			
ご担当者 ※上記と 異なる場合			
電話		F A X	
E-mail			
住 所	〒		
		府 県	
		都 道	

※応募事業・活動に関連して受賞歴がございましたら、下記にご記入ください。

--

※ご応募内容に関し、補足資料があれば、添付くださいますよう、お願いいたします。

※「関西財界セミナー賞2019」事務局へメール、FAX、または郵送でお送りくださいますよう、お願いいたします。

○応募先

メール : zaisemishou2019@kankeiren.or.jp

F A X : 06-6443-5347

郵 送 : 〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階
(公社)関西経済連合会 総務部 関西財界セミナー賞2019 担当宛て

2018年 月 日

「関西財界セミナー賞2019」 推薦用紙

募集期間 2018年9月3日(月)～10月19日(金)

推薦する
企業・団体・個人名推薦する
事業・活動名

◆推薦ポイント ※可能な範囲でご記入ください。

＜独自性・革新性＞※箇条書き（100文字以内）

(例:日本・世界初の取り組み・ビジネスモデル、従来と異なる手法に挑戦、本業を生かし新たに〇〇の分野に進出、
〇〇(技術・商品)は日本唯一 など)

--

＜活動成果・影響＞※箇条書き（100文字以内）

(例:〇年連続で収益増、約〇%(国内〇位)のシェア、〇億円の経済効果があった、施設において〇人を集客 など)
※概ね直近3年間でのご活躍内容をご記入ください。

--

＜関西への貢献＞※箇条書き（100文字以内）

(例:地域の課題解決への取り組み、地域の雇用創出に貢献、住民交流の場の提供、地域振興活動の実施 など)

--

＜女性の活躍＞※箇条書き（100文字以内）

(例:〇〇年経営者として活躍、女性初となる〇〇、女性ならではの視点を生かした事業の実施および商品の開発、
働く女性を支援する〇〇制度を整備し、育児休業取得率、復職率〇%を達成 など)

--

◆推薦者コメント

(直近1年での特別なトピックス等、自由にご記入ください。)

--

◆推薦企業・団体・個人の連絡先 ※ご存じの場合に、ご記入いただければ幸いです。

部署名 (役職名)			
ご担当者			
電話		F A X	
E-mail			
住 所	〒		
	府 県 都 道		

◆ご推薦者の連絡先

ご所属 (役職名)			
お名前			
ご担当者 ※上記と 異なる場合			
電話		F A X	
E-mail			
住 所	〒		
	府 県 都 道		
※推薦企業・団体・個人へご推薦者のお名前をお知らせしてよろしいですか？ (いずれかに○印をお付けください。)			
[]可 []不可			

※ご推薦内容に関し、補足資料があれば、添付くださいますよう、お願いいたします。

※「関西財界セミナー賞2019」事務局へメール、FAX、または郵送でお送りくださいますよう、お願いいたします。

○応募先

メール : zaisemishou2019@kankeiren.or.jp

FAX : 06-6443-5347

郵 送 : 〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階
 (公社)関西経済連合会 総務部 関西財界セミナー賞2019 担当宛て

「関西財界セミナー賞」受賞実績

※役職は受賞時のもの

○第1回 (2005年2月3日、4日)

大賞：株式会社 島精機製作所

(無縫製編み機などの革新的な商品開発を実現。国内外のニット産業でトップシェアを誇り、和歌山・関西のイメージアップに貢献。)

特別賞：神戸ルミナリエ組織委員会

(阪神・淡路大震災以降に毎年開催。神戸の冬の風物詩として定着、神戸をはじめ関西の集客力アップ・イメージアップに貢献。)

特別賞：株式会社 ミキハウス

(子どもたちに大きな夢を持ってもらいたいとの思いで、スポーツ支援活動に取り組む。スポーツ界発展や地域活性化に貢献。)

○第2回 (2006年2月9日、10日)

大賞：セーレン 株式会社

(カネボウ(株)の繊維事業再生を引き受け、地域の雇用確保や国内繊維産業の再生に貢献。さらに、繊維加工技術を基盤とする優れた業績。)

特別賞：日本スピンドル製造 株式会社

(2005年4月25日に発生したJR福知山線脱線事故に際し、全従業員で救助活動を実施。緊急時の危機対応や地域との共生の模範。)

○第3回 (2007年2月8日、9日)

大賞：シスメックス 株式会社

(国内で初めて自動血球計数装置の実用化に成功。グローバルな事業展開の中で、神戸・兵庫発祥の企業として、地域に根ざした研究開発を実践。)

特別賞：京都商工会議所

(2004年12月より、「京都・観光文化検定試験」(通称=京都検定)を実施。観光振興に加え、地域への愛着を生み出す新たな運動の火付け役。)

特別賞：株式会社 グルメ杵屋

(飲食業にとどまらず、鉄道・卸売市場・学校法人など、公共性の高い幅広い分野での事業再生。関西企業らしいユニークな経営手法を実践。)

特別賞：なにわ淀川花火大会運営委員会

(18年間にわたり、地元ボランティアスタッフによる花火大会を企画・運営。60万人以上を集客する全国有数の花火大会に育てあげた。)

○第4回 (2008年2月7日、8日)

大 賞：シャープ 株式会社

(2007年7月、堺市に最先端の液晶パネル工場と薄膜太陽電池を量産する太陽電池工場を併設することを決定。これを機にデジタル素材を供給する各社も近隣に進出を表明するなど、関西の産業活性化に貢献。)

特別賞：神戸コレクション制作委員会

(2002年8月以来、毎年2回、神戸・東京などでファッションショーを開催し、神戸のファッションブランドの向上とアパレル産業振興に貢献。2007年2月、2008年1月には上海公演を実施。)

特別賞：財団法人 太平洋人材交流センター

(1990年の設立以来、開発途上国の企業や行政の幹部に、産業振興に関連したマネジメント研修を実施。研修参加者が延べ1万人を超えるなど、関西の国際的な人的交流の活発に貢献。)

○第5回 (2009年2月5日、6日)

大 賞：京阪電気鉄道 株式会社

(2008年10月、大阪で中之島線を開業。大阪の東西交通アクセスが飛躍的に向上。関西全域の交通ネットワークの充実に貢献。観光促進効果や都市開発促進効果にもつながる見込み。また、周囲の景観に配慮した新駅づくりでも話題を呼んだ。)

特別賞：天神橋筋商店連合会

(多くの人々に「楽しんでもらえる商店街」を目指し、様々なソフト事業を展開。2006年9月の「天満天神繁昌亭」オープン後も、“町街人”(ボランティアガイド)、防犯マニュアル作成等アイデア溢れる取り組みを継続。また、他地域・商店街との交流による地域活性化も目指している。)

特別賞：東大阪宇宙開発協同組合

(2002年12月設立。東大阪の経済振興を目指し、航空宇宙産業を地場産業に育てるため民間で共同研究開発を行う。2007年5月に産業技術総合開発機構からの委託事業である、小型衛星の開発に着手。その実験衛星であるSOHLA-1(まいど1号)が、2009年1月21日打上されることが決定。)

特別賞：三ツ星ベルト 株式会社

(1919年創業。産業用ベルト、自動車用内・外装品などを手掛け、海外10ヶ国に生産・販売拠点14ヶ所を設けるグローバル企業でありながら、社内ボランティア団体「三ツ星ベルトふれあい協議会」が中心になり“神戸・長田たなばたまつり”など、地域住民との交流を深めている。)

輝く女性賞：特定非営利活動法人 J. POSH

(2003年に全国初のNPO法人認証を受けた、乳がん啓発活動を行う市民団体。マンモグラフィー検診の普及促進や乳がんについての情報提供を中心に、患者と家族のサポートなどの幅広い活動を行い、全ての女性患者、患者の家族が涙を流すことのない社会・健康づくりを目指している。)

輝く女性賞：第二十五回全国菓子大博覧会・兵庫(姫路菓子博2008)

実行委員長 下村 俊子 氏

(2008年4~5月開催の「姫路菓子博2008」の実行委員長として、同博覧会の集客(24日間で約92万人)・成功に貢献。老舗菓子メーカーの経営者としてその手腕を発揮する、神戸を代表する女性経営者の一人。また、文化・芸術による地域振興活動にも取り組んでいる。)

輝く女性賞：兵庫県豊岡農業 改良普及センター

西村 いつき 氏

(2002年にコウノトリプロジェクトチームの一員として、安全で美味しいお米と多様な生き物を育み、コウノトリも住める豊かな環境づくりを目指す「コウノトリを育む農法」の確立普及に取り組む。2006年からは、同農法を教材化推進し、国内外から高い評価を受けている。)

○第6回 (2010年2月4日、5日)

大 賞：阪神電気鉄道 株式会社

(2009年3月20日、尼崎と大阪の西九条を結んでいた西大阪線を東へ延伸し、難波とを結ぶ路線を開業。神戸と奈良の広域ネットワーク形成により関西圏の活性化と利便性が向上。今後、人の移動による観光、スポーツ、文化といったあらゆる面で新たな交流が期待される。)

特別賞：特定非営利活動法人 KOBE鉄人PROJECT

(神戸出身の漫画家故・横山光輝氏のキャラクターを生かした地域活性化プロジェクト。アニメ文化の振興と地位向上事業やアニメ文化を通じた多世代の交流や子どもの健全育成に関する事業などにより、地域全体の総合的なまちづくりを目指す。)

特別賞：一般社団法人 食博覧会協会

(第7回目を迎えた2009年には、子供の視点を重視し、楽しみながら食べて学べる「食の学校」を演出・コンセプトにして好評を博した。11日間の開催で64万人を超える来場があった。食の魅力の発信とともに、経済波及効果も報告され、日本を代表する食のイベントに成長させた。)

特別賞：株式会社 ロボ・ガレージ

代表取締役 高橋 智隆 氏

(2003年京都大学工学部卒業と同時に「ロボ・ガレージ」を創業(同大学内入居ベンチャー第1号)。開発・設計・デザイン・製作・発表を1人で行うロボットクリエイター。最近では、ヒューマノイドロボットとしては最大となる8cmのジャンプに成功した「ロピッド」を発表。)

輝く女性賞：有限会社 ブルーベリーフィールズ紀伊國屋

代表取締役 岩田 康子 氏

(どんな社会状況の中でもキラキラと輝いて幸せに人生を送ってきたいとの考えのもと、女性ならではの視点から食の安全性を追及した野菜やジャムを栽培し、自身の経営するレストラン・カフェで提供し、循環型社会の実現を目指している。)

輝く女性賞：株式会社 クラッシー

代表取締役 植田 貴世子 氏

(1986年に女性の育児と仕事の両立を支援するため、保育サービス「Stella」を起業。また、家事や生活経験などの生活スキルにも経済価値を見出し、現在のコンシェルジュサービスの基礎を築いた。また、NPO法人Human On The Moveの代表を務め、多様な人的産業の隆盛を図っている。)

輝く女性賞：株式会社 マザーネット

代表取締役 上田 理恵子 氏

(2001年に働く女性の育児支援会社として大阪で同社を設立。女性が結婚、出産をして、仕事をもち続けるための環境整備がいまだに十分でない現状に対し、同氏の実体験をもとに様々な事業展開を行っている。彼女たちが仕事を続けて良かったと実感できるような社会づくりを目指している。)

輝く女性賞：神戸フィルムオフィス

代表 田中 まこ 氏

(ロケーション撮影の誘致や、撮影に必要な諸手続をワンストップで行う非営利団体。同氏の幅広いネットワークも生かして、これまでに約1600本の映像制作が誘致された。6億円を超える直接的な経済効果を産み出したと言われており、地域活性化に貢献。)

大 賞：株式会社 大阪証券取引所

(2010年10月、ナスダック・ジャパンを前身とするヘラクレス市場と、買収したジャスダック証券取引所の市場を統合し、アジア最大規模となる新興市場「新ジャスダック」を発足。デリバティブ取引所として国内最大の取引所になるほか、統合による規模拡大で新興企業の資金調達の場としての魅力が向上。)

特別賞：オーストリッチファーマ 株式会社

(京都府立大学発ベンチャー。ダチョウの卵を用いてインフルエンザウイルス等に対して、従来の抗体よりも優位性がある抗体の開発に成功。高純度な抗体を、安価に大量製造することを可能にした。ウイルスの空気飛沫感染を防御できるマスクやフィルターの商品も開発。)

特別賞：大和ハウス工業 株式会社

(良質な住宅の供給により、戦後の日本の人口増加・住宅不足への対応に貢献。工業化住宅のパイオニアとして、時代の変化に合わせて事業を創出。建築事業に限らず、「福祉・環境・健康・通信・農業」などの分野で新たな事業展開に取り組んでいる。)

輝く女性賞：農事組合法人 古座川ゆず平井の里

(女性による生産・加工組織と生産農家、地元の生活研究グループ等が一体となって設立。ユズを中心とした生産・加工・販売の一元化や、都市との交流事業などを通じ農業経営の安定、農村環境保全、雇用の機会づくりといった地域全体の活性化といった目標を掲げ活動している。)

輝く女性賞：帝 人 株式会社

(1990年代、当時の安居祥策社長の強い考えに基づき、女性活躍推進に取り組む「ダイバーシティ推進室」を人財部内に設置。人事改革の立案、研修やイベントの企画、研究活動や提言を行っており、女性社員が管理職として活躍している。)

輝く女性賞：マロニー 株式会社

代表取締役社長 河内 幸枝 氏

(食品業界では難しいとされるシステム化やITによってPDCAが適切に運用されるなど経営改善に努め、2000年以降の改革により売上が40%増加。また、CMで中村玉緒を起用し、ニッチカテゴリーである「はるさめ」を全国ブランドに育成した。)

2011 年特別期待賞：関西広域連合

(全国初の府県域を越える広域連合。滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県及び徳島県が、防災・観光及び文化の振興・産業の振興・医療の確保・環境の保全・資格試験・職員研修といった分野について共同で取り組む。)

○第8回 (2012年2月9日、10日)

大賞：西日本旅客鉄道 株式会社

(2011年5月、大阪ステーションシティを開業。南北のビル間をつなぐ連絡通路の設置や待ち合わせや憩いの場となる広場の整備など、西日本最大のターミナルである大阪駅を一つの「まち」として開発。また、開業後半年で延べ約7200万人が商業施設を利用するなど、新たな人の流れを創出。)

特別賞：株式会社 片山商店

(織物産地の復活のため、複数の柄の織物を同時生産することが可能となる、世界初の生産システムを開発。同システムは、織物の多品種小ロット生産を行う際、織物の柄を変える度に手作業で糸交換を行う必要があった点を克服。また、納期を従来比1/6に短縮、製造コストを1/3に低減することが可能となった。)

特別賞：レンゴー 株式会社

(津波により壊滅的な被害を受けた宮城県の仙台工場について、いち早く県内代替地での工場再建を決断。震災後早い段階で地元生産を維持するというメッセージを明確にすることで、雇用の安定とともに、地元経済の復興促進にもつながった。)

輝く女性賞：水間鉄道 株式会社

代表取締役社長 関西 佳子 氏

(厳しい経営状態にあった同社の経営再建に取り組み、会社更生法適用から1年2ヵ月での会社再建に貢献。また、鉄道業界初の女性社長に就任後も、鉄道の魅力向上のための女性アテンダントの導入や「えきなかマルシェ」など様々なイベントを企画・実施している。)

輝く女性賞：昭和精機 株式会社

代表取締役社長 藤浪 芳子 氏

(製造業で数少ない女性経営者として、30年にわたり産業機械で使用する制御機器の開発に取り組むとともに、10ヵ国以上の企業と直接取引を展開。また、神戸商工会議所の女性経営者倶楽部会長に就任するなど女性経営者のリーダー役としても活動している。)

輝く女性賞：パナソニック 株式会社

役員 環境本部長 宮井 真千子 氏

(長年、白物家電の開発に携わり、ななめドラム洗濯乾燥機やスチームオーブンレンジなど、数多くのヒット商品の誕生に貢献。2011年4月、同社初の女性役員に就任し、7月からは新設された節電本部の本部長も兼任している。)

○第9回 (2013年2月7日、8日)

大 賞：グローリー 株式会社

(通貨処理分野のパイオニアとして、金融機関の出納業務を自動化する製品やレジつり銭機で高いシェアを持つ。また、通貨処理で磨いた技術をもとに、セキュリティ分野などに進出。製品が約100カ国に出荷されるなど、積極的にグローバル展開も進めている。)

特別賞：財団法人 計算科学振興財団

(「京」をはじめとするスーパーコンピュータの利用促進のため、産業界向けの「FOCUSスパコン」(初心者向け)の利用講習会や、技術者の育成等に取り組んでいる。「FOCUS」を経て「京」を利用する企業が増えるなど、産業界がスパコンを利用するトレンドを創出。)

特別賞：Peach Aviation 株式会社

(日本初のLCC(ロー・コスト・キャリア)として、斬新な社名やカラーなど、独自のブランド戦略で注目を集めた。2012年3月の就航後、計画より1ヵ月前倒しで搭乗者数100万人を達成。また利用者の約3割が航空機を初めて利用したことなど、新たな航空旅客需要を開拓。)

輝く女性賞：株式会社 エコトラック

(国内初の大型天然ガストラックを導入し、他社の導入支援も行うなど、環境負荷の軽減に尽力。また創業当時より小中学校への環境教育を120校以上実施。代表取締役の池田氏は守口門真商工会議所の女性会会長として、地域の商工業の発展に貢献。)

輝く女性賞：塩野義製薬 株式会社

専務執行役員 Global Development 統括

澤田 拓子 氏

(入社後一貫して開発畑を歩み、2007年に同社初であり業界でも数少ない女性執行役員に就任。様々な医薬品の開発に携わり、抗インフルエンザウイルス薬や世界初の特発性肺線維症の治療薬などの開発に成功。)

輝く女性賞：株式会社 JCL バイオアッセイ

(医薬品開発において、臨床試験中のヒトや動物の体液から薬品の濃度を測定するバイオアナリシス試験を実施。高い技術を持ち、国内トップシェア。女性が長く勤められる施策の実施に力を入れ、全社員のうち6割、また管理職の2割が女性であるなど、女性が活躍している。)

○第10回 (2014年2月6日、7日)

大賞：ホソカワミクロン 株式会社

(粉を処理する「粉体技術」の世界トップ企業で、一世紀近くに渡り高度で複雑な処理技術を磨いてきた。自動車やプリンタのトナー、医薬品、化粧品等、身の回りの様々な商品に同社の技術が活用されている。海外売上比率が7割を超えるなど、国内だけでなく世界のものづくりに貢献。)

特別賞：学校法人 近畿大学 及び 株式会社 アーマリン近大

(様々な魚の養殖で培った経験と技術を生かし、難しいとされてきたクロマグロの完全養殖に世界で初めて成功。また、アーマリン近大がうめきたに出店した養殖魚専門料理店は、行列が絶えない人気店となり、養殖魚への理解を深めた。)

特別賞：株式会社 クロスエフェクト

(患者のCTデータから、心臓の内部を忠実に再現したシミュレーターを世界で初めて製作。腫瘍や内壁の穴などの異常まで再現する同社のシミュレーターにより、正確な手術のリハーサルが可能となり、手術の成功率の向上や手術時間の短縮が期待される。)

輝く女性賞：クマリフト 株式会社

代表取締役社長 熊谷 京子 氏

(国内トップシェアの小荷物専用昇降機だけでなく、家族の介護経験から、家庭用の階段昇降機やエレベーターの開発にも力を入れている。また「地域に3世代が交流できる場」を発案し、石川県小松市に「しあわせのいえ」をオープン。同施設は地域の交流拠点として根付いている。)

輝く女性賞：株式会社 フェリシモ

(育児休業を2年間とし、子供が小学校3年生になるまで育児短時間勤務制度を取得可能であるなど、仕事と家庭の両立支援制度を整備。従業員の約8割を女性が占める中、女性の育児休業取得率及び復職率が100%となるなど、女性が働き続けやすい環境を実現。)

輝く女性賞：株式会社 ユーシン精機

代表取締役社長 小谷 眞由美 氏

(世界最速の光ディスク取出技術の開発や、最新の設計技術である「最適設計」を世界で初めて取出口ロボットに応用し、軽量化や省エネを実現するなど、革新的な製品開発を進めた。同社はプラスチック成形品の取出口ロボットで国内、世界共にトップシェアを獲得。)

○第11回 (2015年2月5日、6日)

大賞：小野薬品工業 株式会社

(難治性がんの一つである「悪性黒色腫 (メラノーマ)」に対し、患者自身の免疫能力を高めて治療する新薬を世界で初めて開発、2014年9月から販売が開始されている。今後、他のがんへの効果も期待されるなど、医学の進歩に貢献。)

特別賞：株式会社 ユー・エス・ジェイ

(「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」において、「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」をはじめ、ハリウッド映画や世界的に人気の高い様々なジャンルのエンターテインメント・コンテンツを次々と世界最新鋭のテクノロジーによってアトラクションとして提供。年間来場者数が1000万人以上を記録するなど、関西の観光客誘致に貢献。)

特別賞：「GO ON」プロジェクト

(京都の伝統工芸の若手後継者6人によるプロジェクトユニット。長年受け継がれてきた伝統工芸の職人技を生かしながら、異分野との融合により、新たな支持層の拡大につながる商品を開発し、海外にまで進出するなど、関西、日本のブランド力向上に貢献。)

輝く女性賞：株式会社 プロアシスト

代表取締役 生駒 京子 氏

(1994年に専業主婦から起業。微小信号を取り込む独自のセンシング技術が強みに、日本を代表するものづくり企業の研究開発を支援。近年はその技術を応用した脳波センサなどの自社製品の開発にも取り組んでいる。また、関西経済界においても、数少ない女性経営者として、関西経済同友会において委員長代行を務めるなど、関西経済の発展に尽力。)

輝く女性賞：独立行政法人 理化学研究所

プロジェクトリーダー 高橋 政代 氏

(身体のような組織へ成長できる可能性を持つものとして、山中伸弥京都大学教授が作成した iPS 細胞から網膜色素上皮シートを作成し、眼の難病である「滲出型加齢黄斑変性」を治療するための、世界初の臨床研究、移植手術を実施。)

輝く女性賞：株式会社 チャイルドハート

代表取締役 木田 聖子 氏

(幼稚園教諭、OLを経て、結婚後、専業主婦から起業。子どもの「安心」「安全」、顧客である保護者への「情報開示」を重視し、企業や病院の保育園を関西を中心に13園展開。全国で始めてリアルタイムに子どもの姿を確認できるWEBカメラの導入や園児の衣服にICタグをつけるなど、「安心・安全・保育の見える化」に取り組み、良質な保育施設の運営に向けて工夫を重ねている。)

○第12回 (2016年2月4日、5日)

大 賞：株式会社 アシックス

(ランニングシューズを中心にスポーツシューズの分野で高いシェアを誇るとともに、市民マラソン・ランニングイベントの支援や東京2020オリンピック・パラリンピックのゴールドパートナーに就任するなど、スポーツの発展にも貢献。)

特別賞：東海バネ工業 株式会社

(熟練の技と最新機器を融合させた「ハイブリッド手づくり生産」で、東京スカイツリーの制振装置に使われる巨大バネから人工衛星に使われる極小バネまで、多品種微量生産を実施し、関西経済の発展に貢献。)

特別賞：新関西国際空港 株式会社

(関西の訪日外国人観光客の受入窓口として、LCCの新規路線就航や増便、成長著しいアジア各国とのネットワーク強化に取り組み、2015年に国際線の発着回数、旅客数ともに過去最高を記録。関西のインバウンド促進に貢献。)

輝く女性賞：相互タクシー 株式会社

代表取締役社長 小野 幸親 氏

(女性の視点を生かし、顧客ニーズにあったサービスを提供するとともに、自らマンツーマンで長時間におよぶ採用面談を行い、家族主義的経営により業界平均の約2倍の勤続年数で雇用を守っている。また、大阪タクシー協会の女性部会会長に就任し、業界における女性活躍推進、地位向上にも取り組んでいる。)

輝く女性賞：特定非営利活動法人 ノーベル

(2010年に関西で初めて「共済型」で病児保育事業を開始し、サービスエリアを順次拡大している。また、2013年からは「ひとりおかんっ子応援団プロジェクト」を開始するなど女性の社会進出促進に貢献。)

輝く女性賞：パナソニック 株式会社 役員、ジャズピアニスト

小川 理子 氏

(2014年、生産・販売を休止していた高級オーディオ機器「テクニクス」ブランドを復活。2015年にはパナソニック2人目となる女性役員に就任。また、ジャズピアニストとして14枚のCDを発売。幅広い知見と高い感性で経営シナジーを創出している。女性活躍の新たなロールモデルである。)

○第13回 (2017年2月9日、10日)

大 賞：小林製薬 株式会社

(「あったらいいなをカタチにする」のスローガンのもと、人々に「快」を提供する新しい製品を次々と世に送り出している。また近年では、中国人観光客が日本を訪れた際に必ず買う「12神薬」のうち、5つが同社の製品であるなどインバウンド消費にも貢献している。)

特別賞：日本ポリグル 株式会社

(納豆に含まれる成分を使った独自の水質浄化剤を開発し、世界の水問題の解決に貢献している。その事業を社会貢献ではなく、発展途上国の貧困層を対象としたビジネスとして展開し、また、現地での雇用や新たな産業を生み出すなど、BOPビジネスのパイオニア的存在と言える。)

特別賞：養父市

(国家戦略特区の活用による農業分野や高齢者雇用における規制緩和を実現し、特例農業法人の誘致や6次産業化の促進など、地方創生に取り組んでいる。このような取組が、同様の問題を抱える日本全国の中山間地域農業に水平展開されることにより地方経済の活性化が期待される。)

輝く女性賞：株式会社 アトラステクノサービス

代表取締役 鯛 かおる 氏

(1997年の起業以来、高性能かつコンパクトな真空フライヤーの開発など、女性の経営者・技術者として、活躍している。また、自治体や若手農業者等と共同開発を行い、農業製品のブランド化にも貢献している。)

輝く女性賞：株式会社 メディカ出版

社長 長谷川 素美 氏

(世界初となるデジタル看護教科書の開発や介護人材不足解消のためのフィリピン日本語アカデミー開校など、看護・介護分野に大きく貢献している。また、社内においても女性管理職比率が4割以上、育児休業取得者の復職率100%など女性活躍を進めている。)

輝く女性賞：特定非営利活動法人 Homedoor

理事長 川口 加奈 氏

(10代の頃から「あいりん地区」に飛び込み、ホームレス問題の解決に向け、若者目線かつ息の長い活動を続けている。その活動は、生活支援にとどまらず、就労支援、さらには啓発活動と幅広く、ホームレス状態を生み出さないための一貫した事業となっている。)

○第14回 (2018年2月8日、9日)

大 賞：吉本興業 株式会社

(「笑い」をベースとした独創的なビジネスモデルを確立し、お笑いの都としての大阪ブランドを構築した。近年では、笑いの医学的な効果に関する研究のほか、積極的なアジア展開、SDGs・万博誘致のPR協力など、世界に向けた大阪・関西の情報発信に貢献している。)

特別賞：認定特定非営利活動法人 フードバンク関西

(企業や個人からの寄贈食品を福祉団体等に無償で届けることで、貧困という社会課題の解決に貢献している。2003年以降、関西において他団体に先駆けて活動を始めており、貧困問題と食料廃棄問題を同時に解決する取り組みは、SDGsに資するものである。)

特別賞：株式会社 ミライロ

(障害者の視点から、まちや社会のユニバーサルデザイン化を進めることで、障害を経済的価値に変えるという新たなビジネスモデルを確立した。障害者だけでなく、誰にでも安心して快適なまちづくりを推進することは、関西に新しい競争力をもたらすものであり、地域の発展に貢献している。)

輝く女性賞：株式会社 グランディュー

代表取締役 小笠原 恭子 氏

(社会福祉法人ではなく、株式会社としてカフェを経営することで、障害者手帳を持っている人だけでなく、ニートや引きこもりの人も対象とした、幅広い雇用支援を行っている。「お給料をもらう重みと責任は持って欲しい」という信念に基づく取り組みは、自立を目指す人に活躍の場を与えている。)

輝く女性賞：大塚製薬 株式会社

(執行役員 33 名中、5 名が女性、出産後も働き続ける女性MRが数多くいるなど、経営者のリーダーシップによりダイバーシティ推進に取り組んでいる。また、育児に関する情報共有の場の提供や女性のキャリア継続のための自主勉強会の支援、徳島にある企業内保育所を国内最大規模に拡充するなど、ソフトとハードの両面から女性の活躍を支援している。)

輝く女性賞：株式会社 天彦産業

(重厚長大、男性中心の鉄鋼業界の中で、従業員 40 名中、10 名が女性であるなど、女性活躍を積極的に推進している。社員第一主義を掲げ、制度よりも働きやすい風土づくりを重視した取り組みは、ダイバーシティ経営の好事例と言える。)

輝く女性賞：株式会社 はたけのみかた

(滋賀県産の無農薬野菜を使用した安全・安心なベビーフードの開発・製造・販売を通じて、近年の多忙な子育て世代、輝く女性を支援している。また、有機農業や生産者の情報を広く発信することで、農業や農家に対する消費者の理解促進にも貢献している。)

以 上